



File 18

http://www.honda-sun.co.jp/

ホンダ太陽株式会社

- 所在地：別府市大字内電1399-1
- TEL：0977-67-8524
- 事業内容：2輪車、4輪車、汎用製品の部品組み立て
- 雇用人数：健康者76人 障がい者58人

- 沿革：1981年 ホンダ太陽設立
- 1995年 日出工場竣工
- 1997年 ISO9002取得
- 2000年 ISO14000取得
- 2005年 杵築工場稼働



「保護より機会に」に加え 「機会を世界に」

現在の障がい者の雇用状況等について

■ 雇用している障がい者の状況

別府、日出、杵築の3工場を合わせて身体障がい者57人（重度障がい者41人、軽度障がい者16人）、知的障がい者1人。

頸髄損傷、脊髄損傷での車いす使用者をはじめ、杖使用者、聴覚障がい者などもある。脳性まひの人たちの雇用も多く全体の47%を占める。

■ どんな仕事をしているか

それぞれの障がいの特性に合わせて、製造ラインの作業から、検査工程、生産管理、庶務、品質管理など、社内の各分野で仕事を担当。

マネージメント層（管理監督者）の役職に就いている人も多い。



部品を運ぶ芦刈さん

障がい者を雇用して良かった点

会社の設立目的が「障がいのある人たちにも共に仕事を通して自立と自己成長を達成してもらう」ことであり、障がい者雇用を使命にしている。

障がい者のチャレンジ意欲は健康者と全く変わらず、同社では「さらにスキルアップを目指し、与えられた仕事の領域の中で自ら考えて改善に挑戦することは誇りである。与えられたことをこなすだけでなく、自ら行動することを障がい者自身が実践している」と評価している。

コメント

■ 障がい者雇用担当者

取締役管理本部長 樋口 克己さん

「障がい者」という先入観ではなく、「社会に貢献する働く人」を雇用しているという視点を重要にしています。

社会からの要望が高まっている知的障がい者の雇用についても、社内で検討を重ね、仕事を抽出するなどして取り組みはじめました。



■ 現職障がい者

製造課 芦刈 一成さん

製造ラインに部品を運ぶ資材供給の仕事をしています。

ラインで仕事をしている人から、時間短縮できたと言われるとうれしいです。休みの日は従業員の親睦会に参加したり、駅伝の応援に行ったりして充実しています。



プロセス

STEP 1

■ 雇用スタート時の状況・雇用を始めようと思ったきっかけ

約30年前、ホンダの創業者が社会福祉法人太陽の家を訪れた。太陽の家で働く障がい者を見て「ホンダでも障がいのある人たちにも共に仕事をやってもらい、豊かな社会生活を送ってほしい」との思いで、障がい者雇用支援の特例子会社として別府市内にホンダ太陽を設立した。



STEP 2

■ どんな問題点にぶつかったか

社内でどのような仕事があるかを模索し、オートバイのスピードメーターの組み立て作業に取り組むことにした。

ホンダからの技術支援、品質支援を受け、また障がい者からアイデアを出してもらい、ライン構成や作業環境の改善をし、効率のよい生産体制を築いた。

しかし、海外での生産強化など、自動車産業を取り巻く環境の変化は激しく対応を迫られている。



片手でも持ち上げられる治具

STEP 3

■ それに対してどんな改善策を取り、工夫してきたか

存在価値の向上のため、品質面でホンダグループ内No.1を目指し、作業用の器具を自社開発するなど、変化に強い体質の確立を進めている。

これまでは身体障がい者を雇用していたが、社会ニーズの変化から、知的・精神障がい者の雇用も検討。



それぞれの障がいを補助する機械を導入

昨年4月に知的障がい者1人が入社。半年間はマンツーマンで、繰り返し仕事を指導。一日の生産計画表をもとに指示を受け、製造ラインに部品を運ぶ仕事を担当している。

同社では今後も雇用を拡大し、製造ラインの作業だけでなく、マネージメントなどの間接部門で、自分たちで考えて作り出す内容の仕事へと発展させたいと考えている。

社内環境

知的障がい者のサポートでは、コミュニケーションに重点を置き、「一人にさせない体制」を構築中。社員同士が仕事時間以外でも各種スポーツやクラブ活動を通じて仲間作りをしている。

また社員が社会貢献活動を主体的に行い、子供たちを対象にした「ものづくり教室」や体験学習の受け入れなどは地域から大変喜ばれている。

